



「自殺対策強化月間」特別展示  
みんなで守ろう  
いのちのちどころ

日本では、毎年2万人以上の方が自ら命を絶っています（平成29年年間の累計自殺者数は21,140人（速報値） ※厚生労働省の統計による。以下も同じ）。平成28年の21,897人より757人（約3.5%）減少したとはいえ、決して少ない数ではありません。

和歌山県では、平成29年の自殺者数は197人で、平成28年の237人からは40人減り、対前年自殺者減率では全国1位でした。平成21年9月に「和歌山県における自殺対策の推進基本方針」を策定してから、官民が一体となり、自殺対策に取り組んできました。平成25年5月には「和歌山県における自殺・うつ病対策の推進基本方針」を策定しています。

しかし、まだまだ救える命があります。身近な人が気づき、声をかけ、手を差し伸べるだけで救われる心があります。

悲しい選択をする前に、ほんの少し立ち止まって、本に手を伸ばしてみてください。見えていなかった選択肢があるかもしれません。

県立図書館では「自殺対策強化月間」に合わせ、（県）障害福祉課と連携し、特別展示を行います。いじめや過労死、依存症、介護問題等、幅広い図書を約100冊展示し、貸出します。

関連のパンフレット等もおいていますので、ぜひ手にとって御覧ください。

- 期間 平成30年3月1日（木）～3月31日（土）
- 場所 閲覧室内

参考：和歌山県自殺対策情報センターホームページ

厚生労働省ホームページ「自殺の統計：最新の状況（速報値）」

# 中高生読書まつり

## 「ビブリオバトル和歌山大会決勝戦」「POPコンクール表彰式」

平成29年12月10日（日）、メディア・アート・ホールにおいて、中高生読書まつり「ビブリオバトル和歌山大会決勝戦」および「POPコンクール表彰式」を開催しました。

ビブリオバトルは、県内の地域大会や予選から選ばれた中学生7名、高校生8名で決勝が行われ、中高生のみなさんのおすすめ本に対する熱い思いをぶつけ合いました。

最も多くのオーディエンスに「読んでみたい!」と思われたチャンプ本は、次の2冊です。

### 【ビブリオバトル チャンプ本】

#### 中学生の部

『空飛ぶタイヤ』  
(池井戸 潤/著 講談社文庫)



バトラー：宮本 崇行さん(湯浅中学校)  
☆宮本さんは「全国中学生ビブリオバトル  
決勝大会」(3/28)に出場予定です。

#### 高校生の部

『永遠の出口』  
(森 絵都/著 集英社)



バトラー：小林 以呂羽さん(那賀高校)  
☆小林さんは「全国高等学校ビブリオバトル  
決勝大会」(1/28)に出場されました。

また、POPコンクールでは、応募総数890点(内中学生496点、高校生394点)の中から、10点の入賞作品と40点の佳作が選ばれ、入賞者の表彰式と作品の展示を行いました。

### 【POPコンクール入賞作品】

#### 最優秀賞



『言の葉の庭』(新海 誠/著)  
制作者：小谷 剛さん  
(和歌山県立橋本高等学校)

#### 優秀賞(中学生の部)



『記憶屋』  
(織守 きょうや/著)  
制作者：三木 結加さん  
(有田川町立吉備中学校)

#### 優秀賞(高校生の部)



『世界から猫が消えたなら』  
(川村 元気/著) 著  
制作者：坂上 舞香さん  
(和歌山県立田辺高等学校)

詳しくは県立図書館ホームページでご紹介しています。

## 「がん患者・家族・県民のための公開講座」

# いのちの日々

平成30年2月12日（月）メディア・アート・ホールにおきまして、「がん患者・家族・県民のための公開講座」を開催しました（和歌山県立医科大学附属病院との共催）。

県立図書館で開くのは今年で5回目となる公開講座で、今回は「いのちの日々」と題し、医師の徳永進氏にご講演いただきました。

徳永進氏は、2001年より鳥取市内でホスピスケアを行う「野の花診療所」を開設し、患者さんに寄り添いながら命のありようを見つめてこられました。その深いまなざしは『野の花ホスピスだより』、『どちらであっても』など多くの著作からも伝わってきます。



講演会では、これまでの患者さんたちとのかかわりや「野の花診療所」開設までの苦労話、ホスピスケアに対する信念などを、柔らかい口調で、時には笑いも交えながらお話してくださいました。

死を目前にした時、どのような治療をするか、残された日々をいかに生きるか、様々な選択肢を患者さんとともに考え、できるだけ意向に沿う。限りある命を少しでも幸せに終わらせられるよう、スタッフが一丸となって力添えする。

「野の花診療所」のあり方は、「死」に対する<sup>きひかん</sup>忌避感を減らし、「死」が身近なものだということを改めて感じさせてくれました。

和歌山県では、「がん」の死亡率が高いため、様々な取組を行っています。

県立図書館では、「がん」の死亡率を県の課題として、図書館を利用する県民の方々に「がん」の知識を深めていただくため、関連図書やパンフレット類を集めた特別コーナーを設置しています。「がん」を考える機会として、ぜひご利用ください。コーナーは次のように分類しています。

1. 呼吸器<肺 等>
  2. 消化器<胃・食道・大腸・肝・胆・膵 等>
  3. 泌尿器<腎・前立腺 等>
  4. 婦人科系
  5. 血液 リンパ<白血病・リンパ 等>
  6. 他種<甲状腺・咽頭・小児 等>
  7. がん全般<治療・検査・予防・緩和ケア 等>
  8. 闘病記等<闘病記・エッセイ・家族支援 等>
- ★ がん診療ガイドライン関係図書
  - ★ がんと仕事
  - ★ がんとお金



「がん」関係図書コーナー

約700冊を配置

## 南葵音楽文庫のご案内

専門家による南葵音楽文庫ミニレクチャーを開いています。紀州徳川家第16代当主徳川頼貞が集めた貴重な音楽資料や、その時代の音楽文化についてなど、毎回興味深いテーマを分かりやすくお話してくれます。お気軽にご参加ください。

日時：毎週土曜日  
午前11:00～11:30  
(受付10:50～調査相談カウンター)  
場所：南葵音楽文庫閲覧室  
定員：毎回10名程度



南葵音楽文庫閲覧室は、開館時間中はいつでも入室できます(調査相談カウンターで申し込みが必要)。ただし、ミニレクチャー開催時間中は、一般の方の入室はご遠慮ください。

## おはなし会のお知らせ

場所：児童室わくわくひろば  
授乳室・ベビーカーの貸出があります。  
お気軽に声をかけてください。

### ★季節のおはなし会

～あかちゃんといっしょに楽しもう～

10:30～、11:00～

平成30年5月16日(水)

8月15日(水)

11月21日(水)

平成31年2月20日(水)

### ★ボランティアさんによるおはなし会

毎週土曜日2:00～

△第1土曜日は11:00～

(乳児向け)

△第5土曜日はありません

和歌山県立図書館だより 第66号

(平成30年3月発行)

発行 和歌山県立図書館

住所 〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号

TEL(073)436-9500 FAX(073)436-9501

<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>